

## インドの病院が、ニセの COVID ワクチン詐欺で閉鎖：

2500 人超が塩水と抗生物質を投与された恐れあり

By RT.com /Infowars

July 6, 2021

少なくとも、10 のワクチン接種センターが、この詐欺の調査を受けている。

<https://www.infowars.com/posts/indian-hospital-closed-amid-fake-covid-vaccine-scam-as-2500-are-feared-to-have-been-given-saline-antibiotics-instead/>

インドの 12 以上の私設ワクチン接種センターが、「ワクチン」とラベルの貼られた塩水と抗生物質によって、人々を「免疫化」していた。逮捕が進行中ではあるが、2500 人以上が、新しい波の不安を前にして、なすすべもなくなっている。

(訳者注：抗生物質 antibiotics であって、抗体 antibody ではない)

ムンバイの地方政府が、金曜日、Shivam 病院を閉鎖した、と地方メディアは報じ、そのライセンスは、大規模なワクチン詐欺につながる容疑によって、取り上げられるだろうと言った。警察は、ニセの Covid ワクチンが、現在、逮捕されている経営者とともに、この病院から発したものかどうかを調査している。

今年早々、この病院は、私設のワクチン・センターとして登録され、ウィルスに対して人々を免疫化する政府の許可を受けた。それは、2 万以上のワクチンの小瓶を、ムンバイの政府の市民団体 BMC から受けていた、と India Today は報じ、地方の警察を引用した。

<https://www.indiatoday.in/cities/mumbai/story/bmc-seals-shivam-hospital-in-connection-with-fake-vaccination-scam-1823300-2021-07-03>

「我々は、すべての大物はすでに逮捕している。もし誰でも他に関係のある者が発見されれば、もっと逮捕するだろう」と、ムンバイの警察・法律・および秩序、連合コミッショナー Vishwas Nangre Patil は、記者会見で報告した。

これまでのところ、少なくとも 10 のワクチン接種センターが、この詐欺で調査されており、ニセ注射から、およそ 260 万ルピー (3 万 5000 ドル) を、詐取した疑いがかけられている。

ムンバイの2人の被害者、Hiren Mehta とその妻が、コロナウィルス・ワクチンだと彼らが考えたものの代価として、それぞれが1,260 ルピー（23ドル）を払った。彼らは、もう正しい注射を受けることはできない。なぜなら、彼らは、政府のワクチン接種データベースに取り込まれた、私設センターのニセの証明書を受け取ったからだ、と言った。

「我々の主な心配は、我々の体内に注射されたものことだ。そして、いつ我々が、最初のワクチンを受けられるかということだ。なぜなら第3の波が近づいているから」と、この男性は Straits Times に話した。<https://www.straitstimes.com/asia/south-asia/thousands-jabbed-with-unknown-substances-at-fake-covid-19-vaccination-camps-in-india>

ムンバイ警察は、患者の体内に、どんな物質が注射されたかを、いまだに調査しているが、瓶には塩水（saline）が詰め替えられたと思われる。Kolkata の別のケースでは、抗生物質が、ワクチンの代わりに用いられた可能性がある。

500 人近くの人々が——その一部は身体不自由者——Amikacin を詐欺的に投与されたのではないかと疑われている。アミカシンとは、細菌による感染を治療するのに用いられる抗菌薬で、meningitis（髄膜炎）などの、血液や骨や尿の感染が含まれる。

押収された小瓶には、「AstraZeneca Covid ワクチン」と虚偽のラベルが貼ってあり、「Covishield in India」というブランドになっていた、と AFP は地方警察を引用して、報じた。遺伝学の修士号をもち、公務員を名乗る男が逮捕され、この地域の、いくつかの詐欺ワクチン接種センターの、手配をしたと疑われている。その患者たちは、現在、副作用の不安を抱えて、パニック状態に陥っている。

「どんな緊急事故でも起これば、市当局は、ニセ注射を受けた人々の介護をするために、その地域に、医療キャンプを設けるつもりだ」と、コルカタ保健局の Debasish Barui は、ニュース局に話した。市当局はまた、不安をもつ2,700人近い、詐欺の犠牲者に対し、抗体（antibody）テストをする予定だという。しかし Indian Express は、そうは言っても、人々は、保護されないまま放置されるかもしれない、と報じている。

<https://indianexpress.com/article/cities/mumbai/behind-mumbai-fake-vaccine-scam-a-medical-association-clerk-a-hospital-picked-as-centre-7385126/>

「このテストでは抗体はよい状態にあることを示した。しかし、私は Covid にかかっていて無症状なのか、また、私の受けたワクチンが本物なのかもわからない」と、この疑惑のあるセンターのひとつでワクチンを受けた、ある男性は言った。

インドは、Covid-19 の最もひどい被害を受けた国の一つで、3,050 万以上の確認された患者と、40 万人以上の死者がいる。3 億 5,100 万回分のワクチンが、この国では投与され、5,900 万人が完全に接種された。これは全人口の 4.3%強に当たる。

関連ニュース： **医者が警告：ファイザーCOVID ワクチンにおける Graphene が、広範囲な血栓症を起こしている可能性あり**

<https://www.banned.video/watch?id=60df9cef5a2e6c3e80561d05>

[訳者 Greatchain]

同じような塩水を詰めた「ワクチン」の小瓶は、アメリカでもカナダでも出回っている。  
<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/210702.pdf> アメリカの事件報道では、塩水 (saline) 以外の含有物のことは言っていないが、もちろん、安全に気を付けて偽物を作っているわけではない。インドでは、塩水の中に、細菌に用いる抗生物質 (剤) が入っていたというが、犯罪者はどんな汚水でも使うだろう。そして、この文章が匂わせているように、ムンバイの市当局も警察もグルであるようだ。では、インドは特別に悪と犯罪がはびこり、アメリカでは中程度に悪と犯罪がはびこるが、日本は文明国なのだから、そのような悪や犯罪とは無縁と考えるべきか？ 今、世界中で、同じ仕様の瓶と注射器による、ワクチン運動が起こっているのだから、日本だけが特別の、純粋な動機によって動いているとは考えられない。そう考えれば、誰が悪いと非難するよりも、この我々の世界全体に働いている、不穏な悪なる力に、敏感であることの方が大切だと思われる。